

2017.7.6.

報道関係者各位

一般財団法人 雇用開発センター

.....

内々定率は、昨年同月を 7.1 ポイント上回る 65.1%（平成 29 年 6 月 14 日時点）

**2018 年卒 大学生就職活動調査の結果速報**

.....

雇用職業情報を提供する、一般財団法人雇用開発センター（代表理事：井上英紀）は、「2018 年卒大学生の就職活動調査」をイプソス株式会社への委託により実施しました。

この度、調査結果の速報がまとまりましたので、一部抜粋をお知らせ致します。

**【調査概要】**

- ◆調査対象 2018 年 3 月卒業見込みで、就職活動中、または就職活動を終えた学生  
全国の大学 4 年生及び大学院 2 年生 男女
- ◆調査期間 2017 年 6 月 14 日～6 月 21 日
- ◆調査方法 Web アンケート
- ◆有効回答 550 名（大学 4 年生：427 名／大学院 2 年生：123 名）

※文中に記載されている昨年同月調査（2016 年 6 月調査）とは、今年度と同様の調査で、2016 年 6 月 15 日～6 月 22 日に実施され、550 名の回答を得た。

**【結果概要】**

- ・ 6 月時点での内々定率は 65.1%。男女別では男性が 66.3%、女性 63.9%、文理別では文系 61.9%、理系 70.6%となっている。
- ・ 内々定保有者の 72.1%が「内々定先の企業に満足しているので、就職活動を終了する（終了している）」と回答。昨年同様（70.5%）高い数字となっている。
- ・ 全体の 64.4%の学生がエントリー解禁日である大学 3 年生の 3 月 1 日以前に就職活動を開始しており、前年の 58.6%を上回っている。現在の就職活動スケジュールになって、企業側だけでなく学生の活動も早まってきている。
- ・ 「スマホだけで就活を行った（7.6%）」と「スマホが殆どでパソコンは時々使った（26.2%）」を合わせると 33.8%の学生がスマホメインの就職活動を行っており、昨年同月の 26.5%を上回る。
- ・ 現行の就職活動スケジュールについては、「就活期間がちょうど良いと思う」が 44.4%で最も多く、昨年の 32.9%を大きく上回り、学業と就職活動の両立についても、「両立できたので、ちょうど良い」が昨年の 33.6%から 46.2%へと大きく伸ばしている。
- ・ 若者雇用促進法の職場情報提供制度について「まったく知らない」学生が 6 割を超えている。「詳しくは知らないが聞いたことがある」程度の学生を合わせると約 85%に上り、認知度は低くなっている。

**【お問合せ】**

本調査に関するお問合せは下記までお願いします。

一般財団法人 雇用開発センター 相澤・石塚

〒108-0014 東京都港区芝 4 丁目 11 番 4 号 原ビル II 3 階 TEL：03-5419-3090

e-mail：[aizawa@earc.or.jp](mailto:aizawa@earc.or.jp) URL：<http://www.earc.or.jp>

## News release

### 1. 内々定状況

#### (1) 内々定率

- ・ 6月時点での内々定率は、全体で **65.1%**であった。
- ・ 男女別では、男性が **66.3%**、女性が **63.9%**となっている。
- ・ 文理別では、理系学生が **70.6%**、文系学生が **61.9%**となっている。

表. 内々定の状況 (%)

	n	内々定を受けた	まだ、内々定を受けていない
【2017年6月調査】全体	550	<b>65.1</b>	34.9
男性	270	<b>66.3</b>	33.7
女性	280	<b>63.9</b>	36.1
大学4年生	427	62.3	37.7
大学院2年生	123	74.8	25.2
男性×大学4年生	188	63.8	36.2
男性×大学院2年生	82	72.0	28.0
女性×大学4年生	239	61.1	38.9
女性×大学院2年生	41	80.5	19.5
文系	336	<b>61.9</b>	38.1
理系	211	<b>70.6</b>	29.4
文系×大学4年生	318	62.3	37.7
文系×大学院2年生	18	55.6	44.4
理系×大学4年生	107	62.6	37.4
理系×大学院2年生	104	78.8	21.2

\*参考

【2016年6月調査】全体	550	<b>58.0</b>	42.0
---------------	-----	-------------	------

#### (2) 就職活動の継続

- ・ 内々定保有者の **72.1%**が「内々定先の企業に満足しているので、就職活動を終了する（終了している）」と回答し、昨年同月の **70.5%**と同様の高い数字となっている。2017年卒からの選考開始時期の2ヵ月前倒しで、昨年同様に早めの選考・内々定出しを企業が行ったことと、学生側も選考期間の短期化を意識した結果の表れと思われる。

表. 就職活動の継続 (%)

	n	内々定先の企業に満足しているので、就職活動を終了する（終了している）	内々定先の企業に満足していないので、就職活動を続ける	内々定先の企業に不満はないが、他の企業も受けたいので就職活動を続ける	まだ決めていない
【2017年6月調査】全体	358	<b>72.1</b>	14.5	10.9	2.5
男性	179	74.3	14.5	8.4	2.8
女性	179	69.8	14.5	13.4	2.2
大学4年生	266	66.5	16.2	13.9	3.4
大学院2年生	92	88.0	9.8	2.2	-
文系	208	64.9	17.8	13.9	3.4
理系	149	81.9	10.1	6.7	1.3

\*参考

【2016年6月調査】全体	319	<b>70.5</b>	14.1	12.9	2.5
---------------	-----	-------------	------	------	-----

## 2. 就職活動の開始時期

- ・ エントリー解禁の「大学3年生の3月から就職活動を開始した」人が全体で**35.6%**と最も多くなっている。一方で解禁前の2月以前から活動を開始していた人は、累計で**64.4%**と前年の**58.6%**を上回り、多くの学生が実際の解禁前に活動を開始していた現状がみてとれる。

表. 就職活動の開始時期 (%)

	n	2016年10月以前	2016年11月頃から	2016年12月頃から	2017年1月頃から	2017年2月頃から	2017年3月以降
【2017年6月調査】全体	550	23.3	6.4	9.6	10.0	15.1	<b>35.6</b>
男性	270	24.8	6.3	11.1	9.3	13.0	35.6
女性	280	21.8	6.4	8.2	10.7	17.1	35.7
大学4年生	427	23.0	5.6	8.7	9.8	16.2	36.8
大学院2年生	123	24.4	8.9	13.0	10.6	11.4	31.7
文系	336	23.5	6.3	9.2	10.7	15.8	34.5
理系	211	23.2	6.6	10.0	9.0	13.7	37.4

\*参考

【2016年6月調査】全体	550	19.8	6.2	9.3	9.5	13.8	<b>41.5</b>
---------------	-----	------	-----	-----	-----	------	-------------

## 3. インターンシップの参加期間等

- ・ インターンシップの参加率は**55.3%**で、昨年度の**42.9%**を大きく上回っている。
- ・ 参加期間としては「1日（ワンデー）」が**59.9%**と最も多い。
- ・ また、インターンシップ情報の入手ルートとしては「インターンシップ情報サイト」が**61.5%**で最も多いが、「キャリアセンター」からという回答が**46.4%**と前年の**38.1%**を大きく上回っている。

表. 就職活動内容 (%)

	n	インターンシップ	ダブルスクール	就職情報サイト(ナビ)への登録	企業へのエントリー	合同企業説明会への参加	単独の会社説明会への参加	学内の合同企業説明会への参加	会社訪問	OB・OG訪問	その他	上記のような就職活動はおこなっていない
【2017年6月調査】全体	550	<b>55.3</b>	3.8	48.2	69.3	53.8	60.2	45.6	16.7	12.7	0.9	10.5
男性	270	53.3	2.6	48.1	68.5	52.6	60.0	46.7	20.4	13.0	-	11.1
女性	280	57.1	5.0	48.2	70.0	55.0	60.4	44.6	13.2	12.5	1.8	10.0
大学4年生	427	56.9	4.0	47.8	70.0	55.7	60.4	43.3	14.8	9.8	1.2	10.1
大学院2年生	123	49.6	3.3	49.6	66.7	47.2	59.3	53.7	23.6	22.8	-	12.2
文系	336	56.0	4.2	48.2	69.0	55.7	61.3	40.8	12.2	11.0	1.2	10.4
理系	211	54.5	3.3	47.9	70.1	50.7	58.3	53.6	24.2	15.2	0.5	10.4
【2016年6月調査】全体	550	<b>42.9</b>	3.6	56.2	60.9	47.8	54.4	44.0	16.0	10.5	1.8	15.8

表. インターンシップの参加期間 (%)

	n	1日	2日	3日以上1週間未満	1週間以上2週間未満	2週間以上1か月未満	1か月以上3か月未満	3か月以上
【2017年6月調査】全体	304	<b>59.9</b>	18.4	35.9	16.1	6.6	2.0	1.6
男性	144	52.8	19.4	34.7	19.4	8.3	2.1	2.1
女性	160	66.3	17.5	36.9	13.1	5.0	1.9	1.3
大学4年生	243	60.9	18.5	36.2	16.0	4.9	2.1	1.6
大学院2年生	61	55.7	18.0	34.4	16.4	13.1	1.6	1.6
文系	188	62.8	19.7	38.3	13.8	5.3	2.7	1.6
理系	115	54.8	15.7	31.3	20.0	8.7	0.9	1.7
【2016年6月調査】全体	236	<b>55.5</b>	14.0	36.0	19.1	8.9	6.4	5.5

\*参考

【2016年6月調査】全体	236	<b>55.5</b>	14.0	36.0	19.1	8.9	6.4	5.5
---------------	-----	-------------	------	------	------	-----	-----	-----

表. インターンシップ情報の入手ルート (%)

	n	学校のキャリアセンター、または就職課	インターンシップ情報サイト	企業のホームページ	友人、先輩から	新卒応援ハローワーク	その他
【2017年6月調査】全体	304	<b>46.4</b>	<b>61.5</b>	40.1	14.5	2.0	4.3
男性	144	42.4	60.4	45.1	15.3	2.8	4.2
女性	160	50.0	62.5	35.6	13.8	1.3	4.4
大学4年生	243	50.2	61.7	37.4	10.7	1.6	4.1
大学院2年生	61	31.1	60.7	50.8	29.5	3.3	4.9
文系	188	48.9	62.8	36.7	12.8	2.1	3.7
理系	115	42.6	59.1	45.2	17.4	1.7	5.2
【2016年6月調査】全体	236	<b>38.1</b>	<b>60.2</b>	37.7	14.4	2.1	3.0

\*参考

【2016年6月調査】全体	236	<b>38.1</b>	<b>60.2</b>	37.7	14.4	2.1	3.0
---------------	-----	-------------	-------------	------	------	-----	-----

#### 4. キャリアセンターの利用状況

- ・「キャリアセンターを利用したことがある」が62.7%に対して「利用したことがない」学生は37.3%となっている。昨年同月と比べると、「利用したことがある」が約7ポイントアップしている。
- ・利用しない理由としては、「利用してもメリットがない」が46.3%と最も多いが、「そもそも場所がわからない」(21.0%)「何となく敷居が高い」(28.3%)も高い数字となっており、大学にとっては考えさせられる結果となっている。

表. キャリアセンター利用の有無 (%)

	n	利用したことがある	利用したことがない
【2017年6月調査】全体	550	62.7	37.3
男性	270	58.9	41.1
女性	280	66.4	33.6
大学4年生	427	67.4	32.6
大学院2年生	123	46.3	53.7
文系	336	68.8	31.3
理系	211	53.6	46.4

\*参考

【2016年6月調査】全体	550	55.8	44.2
---------------	-----	------	------

表. キャリアセンターを利用しない理由 (%)

	n	そもそも場所がわからない	利用してもメリットがないと思うから	何となく敷居が高く、入る勇気がない	周りの目が気になる(就職活動をしていることを知られたくない)	その他
【2017年6月調査】全体	205	21.0	46.3	28.3	7.3	7.8
男性	111	26.1	46.8	23.4	6.3	8.1
女性	94	14.9	45.7	34.0	8.5	7.4
大学4年生	139	17.3	46.8	30.2	8.6	7.9
大学院2年生	66	28.8	45.5	24.2	4.5	7.6
文系	105	18.1	42.9	25.7	10.5	9.5
理系	98	24.5	50.0	30.6	4.1	6.1

#### 5. スマホとパソコンの活用

- ・「スマホとパソコンを半々で使い分けた」が40.9%で最も多いが、「スマホだけで活動した」(7.6%)と「スマホが殆どでパソコンは時々使った」(26.2%)を合わせたスマホ派が33.8%と前年の26.5%を上回り、「パソコンだけで活動した」(1.8%)と「パソコンが殆どでスマホは時々使った」(18.9%)を合わせたパソコン派の20.7%を、2015年6月の調査以降初めて逆転した。
- ・学生の就職活動において、スマホは益々欠かせないツールとなっていることがうかがえる。

表. 就職活動でのスマホとパソコンの活用 (%)

	n	パソコンは使わずスマホだけで活動した	スマホが殆どでパソコンは時々使った	スマホとパソコンを半々で使い分けた	パソコンが殆どでスマホを時々使った	スマホは使わずパソコンだけで活動した	スマホもパソコンも使わなかった
【2017年6月調査】全体	550	7.6	26.2	40.9	18.9	1.8	4.5
男性	270	6.3	17.8	43.0	25.2	2.6	5.2
女性	280	8.9	34.3	38.9	12.9	1.1	3.9
大学4年生	427	8.9	30.9	41.0	13.3	1.2	4.7
大学院2年生	123	3.3	9.8	40.7	38.2	4.1	4.1
文系	336	6.8	30.4	43.5	12.2	1.8	5.4
理系	211	8.5	19.4	37.0	29.9	1.9	3.3

\*参考

【2016年6月調査】全体	550	6.5	20.0	35.6	25.5	7.3	5.1
---------------	-----	-----	------	------	------	-----	-----

## 6. 就労上の重視点

- ・就労にあたって重視する（求める）点については、「給与・年収」（61.1%）「福利厚生充実」（50.4%）「勤め先の場所（立地）」（45.5%）といった待遇面、条件面の回答が前年より大きく伸びており、売り手市場において学生がより好待遇、好条件の仕事選びを行っている実態がみとれる。

表. 就労上の重視点

	n	給与・年収	残業の少なさ	休みの取りやすさ	福利厚生制度が充実している	勤め先の場所（立地）	仕事のやりがい	希望する仕事ができる	あらたな人との出会い	知識・能力向上機会	社内での昇進の可能性	将来、独立や起業するための経験が積める	定年まで勤められる	親や周囲の意見	その他	重視する（求める）点はない
【2017年6月調査】全体	550	61.1	29.5	41.1	50.4	45.5	47.8	32.4	19.3	23.1	13.1	4.5	16.7	5.3	0.2	2.2
男性	270	64.4	28.1	39.6	48.5	36.7	48.1	33.7	17.4	22.2	15.6	7.0	17.0	4.1	-	2.2
女性	280	57.9	30.7	42.5	52.1	53.9	47.5	31.1	21.1	23.9	10.7	2.1	16.4	6.4	0.4	2.1
大学4年生	427	60.7	29.7	40.3	51.3	45.9	46.4	30.2	20.6	23.0	13.8	4.0	16.6	5.4	0.2	2.6
大学院2年生	123	62.6	28.5	43.9	47.2	43.9	52.8	39.8	14.6	23.6	10.6	6.5	17.1	4.9	-	0.8
文系	336	58.6	29.8	39.0	51.2	44.3	47.6	30.7	21.4	20.8	13.4	5.1	15.2	4.5	0.3	2.1
理系	211	64.9	28.9	43.6	48.8	46.4	47.9	35.1	15.2	26.1	12.3	3.8	18.5	6.2	-	2.4
【2016年6月調査】全体	550	49.3	27.1	36.7	44.2	39.1	43.3	28.4	19.3	23.6	11.6	4.7	15.1	5.6	0.4	5.3

## 7. 就職活動スケジュール、学業との両立

- ・「就活期間がちょうど良いと思う」が44.4%と2015年6月の調査以降、初めてトップになり、前年の32.9%を大きく上回っている。
- ・学業との両立については、「両立できたので就活期間はちょうど良い」が46.2%で最も多く、こちらも前年の33.6%を大きく上回った。
- ・売り手市場ということもあると思われるが、現行の就活スケジュールは学生には概ね肯定的に受けとめられている。

表. 就活スケジュールについて

	n	就活期間がちょうど良いと思う	就活期間が短いと思う	就活期間が長いと思う	わからない
【2017年6月調査】全体	550	44.4	24.9	10.2	20.5
男性	270	41.1	29.6	8.1	21.1
女性	280	47.5	20.4	12.1	20.0
大学4年生	427	44.7	24.6	11.0	19.7
大学院2年生	123	43.1	26.0	7.3	23.6
文系	336	43.8	24.1	11.3	20.8
理系	211	45.0	26.1	8.5	20.4

\*参考

【2016年6月調査】全体	550	32.9	34.2	5.5	27.5
---------------	-----	------	------	-----	------

表. 学業との両立

	n	学業と就活が両立できたので、就活期間はちょうど良いと思う	就活期間が短く、学業と就活が両立できなかった	就活期間が長く、学業と就活が両立できなかった	わからない
【2017年6月調査】全体	550	46.2	18.5	13.1	22.2
男性	270	45.9	21.9	12.2	20.0
女性	280	46.4	15.4	13.9	24.3
大学4年生	427	47.5	17.8	12.6	22.0
大学院2年生	123	41.5	21.1	14.6	22.8
文系	336	46.4	17.6	12.2	23.8
理系	211	46.0	19.4	14.7	19.9

\*参考

【2016年6月調査】全体	550	33.6	30.4	8.9	27.1
---------------	-----	------	------	-----	------

## 8. 若者雇用促進法の認知

- 若者雇用促進法の職場情報提供制度について、「まったく知らない」が 62.7%。「詳しくは知らないが聞いたことがある」が 22.7%となっており、8割以上の学生が制度をよく知らない状況にある。

表. 若者雇用促進法の認知 (%)

	n	青少年雇用情報シートを見たことがある	どのような情報の提供が義務化されたか知っている	どのように請求するかを知っている	詳しくは知らないが聞いたことがある	この法律をまったく知らない
【2017年6月調査】全体	550	5.8	9.6	4.5	22.7	62.7
男性	270	7.0	11.9	5.2	18.1	64.4
女性	280	4.6	7.5	3.9	27.1	61.1
大学4年生	427	6.1	10.1	4.4	24.6	60.2
大学院2年生	123	4.9	8.1	4.9	16.3	71.5
文系	336	6.3	10.4	4.8	24.1	59.5
理系	211	5.2	8.5	4.3	19.9	68.2

### 【本調査結果の詳細】

- 本調査結果の詳細については弊社ホームページ (<http://www.earc.or.jp>) をご参照ください。

以上